



美しい石積み棚田の里だより

エコプロダクツに参加して

12月11日～13日、東京ビッグサイトにて「エコプロダクツ」イベントへ出展してきました。なお、私は初めての参加となります。坂折棚田保存会としての参加は3回目です。エコプロダクツとは、環境に優しい産業を目指す各種企業や学校、そしてNPO・NGOの活動PRのイベントです。

大企業コーナーや環境・体験教育コーナーなど、いろいろなコーナーに分かれていましたがそのうちNPOコーナーの一枠として出展しました。これはNPO棚田ネットワークの仲介の下、全国の棚田12箇所が企画出展したうちの1つです。坂折棚田保存会としては、無農薬・無除草剤・“超”天日干しの棚田米の他、地元で採れた黒豆や棚田米で作られた日本酒を販売及びアピールをしてきました。また、水源の森の間伐材を加工したグッズも持ち込み、米の生産だけでなく棚田そのもののアピールも目的として行きました。

しかし、スペースは2メートル四方……。狭い、狭すぎる。当初はとりあえず物産販売を目的として、ある限りの品物をとりあえず持って行こうという方針でしたが、これからは実際に坂折棚田へ定住してもらうように情報発信もしていかなければならないかもしれません。

全体としては、大企業に多くのスペースを割かれた内容で、やはり目立っていました。しかし、NPOコーナーのような小さい団体の方が自然体験活動や環境保護など、活動内容としては注目されるべきことなのになあ、という思いでこの3日間参加させていただきました。今後、行政と連携をも考慮してこのイベント行事に取り組んで行きたいと考えております。(久保田 旭 記)



ステージでのPRタイム



NPO 法人恵那市坂折棚田のブース

都市と農村の共生について思う

・都市と農村の環境の違い

まづ、都市と農村の環境のちがいについて考えてみます。建物を見ると都市は、高層ビル、マンションが林立しており、住宅は密集して生活空間が狭い。一方農村は自然がいっぱいで広々とした空間があり景観は、山々に囲まれ、広い空、川があり、田、畑が広がり、住居は点在していかにものどかな風景です。

・私達の先祖は自然と共に生きてきた

日本の中山間地域は、坂折棚田（日本棚田百選）に代表されるように、いずれも傾斜地であり、いわゆる棚田農業を営々と続け、今日の景観を形成してきました。すなわち自然の恵みを受け、また自然の恐ろしさを知り、大自然に根をおろして生活して来ました。

・都市住民は、時々棚田農業体験を

長い歴史の中で私達の先祖は、農村での生活体験を経て都市へ移り住み、現在のような都市を形成して行ったと思います。原点は、農業、農村にあったのです。

現在は、全く自然と接することがなくても生活できるわけですが、種々のストレスに逢い、ストレスの蓄積が生活に影響し、健康を害しています。このストレス解消の一手段が、棚田農業体験です。

・都市と農村の交流を進めよう

都市も農村もそれぞれ良いところもあり、そうでないところもあります。長所と短所はどこでもあります。都市と農村の連携によって、直接、間接にさまざまな効果が期待できます。

棚田での自然体験、例えば稲つくりの作業を体験し、地域（棚田）の人達と交流することによって楽しく豊かなくらしができるのではないのでしょうか。



第9期坂折棚田オーナー 収穫祭 平成26年10月

昨年から、坂折棚田都市と農村共生協議会を立ち上げて、都市、農村の交流を積極的に展開しております。

(田口 譲 記)

NPO 法人恵那市坂折棚田保存会 平成27年度行事实施計画

| H27年度 実施計画 | | | | |
|------------|-----------|---------------------------------|----------------------|-------------|
| | 予定日 | 行事名 | 内容 | 備考 |
| 5月 | 5月 連休 | 里芋オーナー植付け | 里親との交流 | |
| | 16日(土) | コカ・コーラ田植 | 40人程参加 | 暫定 |
| | | 中野方小学校の田植 | 小学校5, 6年生 | |
| | 21日(木) | 園芸アカデミー田植 | | |
| | 23日(土) | オーナー田植作業 | オーナーとの交流会 | |
| | 24日(日) | | | |
| | 30日(土) | 恵那農高田植作業 第6回 田の神灯まつり | 環境科1年生 40名 1,000灯 | 予備日: 31日(日) |
| 7月 | 7月 4日(土) | オーナー草取り、案山子作業 | オーナーとの交流会 (案山子作り) | |
| | 5日(日) | 棚田通信発行 | | |
| 8月 | 8月 1日(土) | ピオトープ観察会 | 水田の生物を調査 | 公民館との連携 |
| | 19日(水) | 棚田環境整備 | 一斉草刈り作業 | |
| 9月 | 9月 4日(金) | 第9回フォトコンテスト審査会 (棚田ウォーキングガイド) | 各日20人程参加 | |
| | | コカ・コーラ稲刈 | 40人程参加 | 水源の森実行委員会 |
| | | オアシス21 | 物産販売イベント | (恵那市) |
| | | クラブツーリズム稲刈 | 22名参加 | |
| | 26日(土) | オーナー稲刈作業 | オーナーとの交流会 | |
| | 27日(日) | | | |
| 10月 | 10月17日(土) | ふるさと文化祭り | 写真展示 | |
| | 18日(日) | | | |
| | 23日(金) | 全国棚田(千枚田)サミット | H27年佐賀県玄海町 | |
| | 24日(土) | 収穫祭(刈り株祭り) | オーナーとの交流会 | 暫定 |
| | 25日(日) | 棚田コンサート LED照明 | | 秋頃 |
| | 31日(土) | 第10回石積塾 | 石積みの技術伝承 | |
| | 11月 | 11月 1日(日) | (えなか企画) | |
| | | | | |
| 12月 | 12月10日(木) | エコプロダクツ | 情報発信と物産販売 | |
| | ~ 12日(土) | 棚田通信発行 | | |
| | 下旬 | 岐阜県棚田座談会 | 座談会 | |
| 1月 | 1月16日(土) | 第7回 炭焼塾 | 火入れ | 炭焼技術伝承 |
| | | 棚田通信発行 | | |
| 2月 | 2月 6日(土) | 第7回 炭焼塾 | 窯出し | 炭焼技術伝承 |
| 3月 | 中頃 | きのこオーナーによる植菌作業 | オーナーとの交流会 | |
| | 下旬 | かえるの卵探し | ピオトープ | |

※この表は、予定ですので、日にちを変更することがあります。

坂折棚田の周辺を美しく

今から50年位前は、棚田の周辺は草刈り場でした。田の面積に対して一定の広さが決められており、夏の間には刈り取って、堆積し堆肥化して水稲作の肥料として田に施していた。(化学肥料の無い時代)従って、棚田の周囲は草場ですから広々とした空間となっていました。

今日は、植林されており木が繁茂し、棚田は日陰^{ひかげ}になるところが増えて来ました。昔のように周囲の木を伐採して美しくしたらよいと思います。



周辺伐採後のようす

坂折棚田保存会からのお知らせ

〇きのこ体験

坂折棚田できのこを育ててみませんか

私たちの住む中野方町では、昔から山のきのこを食用とし、里山と共に生活をして来ました。中野方町の里山の落葉樹を活用した、きのこ栽培体験をしてみませんか。菌を植え付けた後は、棚田米のカレーを食べながら交流します。是非、ご家族でご参加下さい。

3月15日(日) 9:30~14:00 さかおりお茶番処集合

大人500円・子ども300円(体験費)

スケジュール

9:00 集合

なかのほうの里山のくらしと、間伐材を利用したキノコ栽培についてのお話

10:00 植菌作業 ※ナメコ、ヒラタケ、クリタケ、シイタケを予定

12:30 昼食

14:00 解散

収穫は11月上旬予定です。



昨年度の収穫



『恵那市坂折棚田ガイド』冊子できました

平成26年、

坂折棚田都市・農村共生協議会とクラブツーリズム株式会社の協力で坂折棚田全てが集録された冊子が出来ました。

*** 必要な方は連絡下さい**

編集後記

2015年を迎え、早如月となります。年のせいか年々、日々が速く過ぎていくような気がします。悠久の棚田を眺めていると、世の生臭いニュースからひと時にしろ遠くなるような心地ですが、ひとたびTVを見たりすると現実に戻されます。なにはともあれ、棚田通信23号をお手元にお届け致します。棚田からのお便りで楽しんで頂ければ幸いです。

NPO法人恵那市坂折棚田保存会 電話:0573-23-2032 * FAX:0573-23-2046 * 携帯:080-1553-0315

E-mail: sakaori-tanada@ia1.itkeeper.ne.jp ホームページ : 坂折棚田

検索